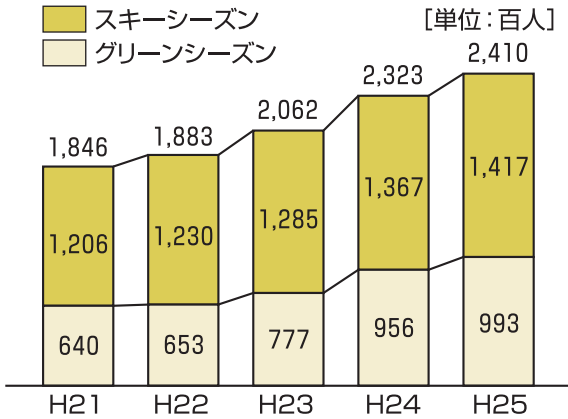


富士見パノラマリゾートの経営状況をお知らせします

問 産業課 商工観光係 ☎62-9228

(1) 来場者の状況 ～スキー・グリーンシーズンとも順調な増加傾向～



スキーシーズン
 〈前年比105%〉
 スキー・スノーボーダーで賑わうゴンドラ山頂駅前ゲレンデ入笠山へのスノートレッキングも人気がある。

グリーンシーズン

〈前年比104%〉
 昨年冬、入笠湿原の斜面へ木道階段を整備したことにより、安全にトレッキングを楽しむことができるため賑わっている。



グリーンシーズンは後半の台風等による雨の影響もありましたが、入笠すずらん山野草公園、入笠湿原、御所平峠のお花畑、入笠山へのトレッキングなど、入笠地区の一体的な環境整備、管理、また誘客効果により前年比104%となりました。

スキーシーズンの前半は安定した造雪によるゲレンデコンディションの確保により順調な入込みがありました。2月の大雪に伴い5日間の休業を余儀なくされたにも関わらず、3月は豊富な積雪量等により復調し、シーズンを通じ前年比102%となり14万人を突破しました。

(2) 決算の状況 ～売上の増加により健全な利益計上～

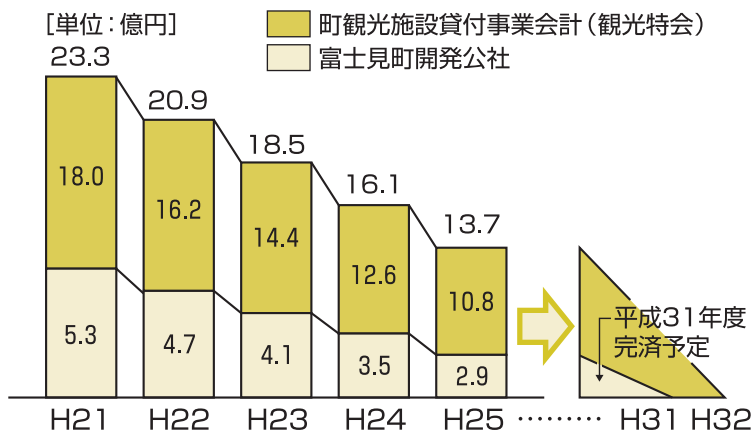
[単位: 千円]

科目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
営業収支	671,351	675,328	722,464	787,318	808,028
営業費用	570,271	685,406	630,131	638,424	649,911
営業利益	101,080	※△10,079	92,333	148,894	158,117

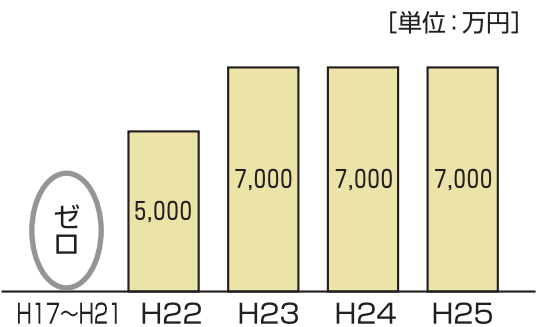
営業外収支は除いています。
 ※平成22年度から町への賃借料の支払を再開(参照: (4) 実質的な一般会計への貢献度))したことにより、決算において賃借料を営業費用に計上しているため、営業収支が赤字となっています。

パノラマリゾートは、町の支援を受けながら総体的には売上の増加を維持し、連続して健全な利益を計上しています。

(3) 町・開発公社連結借入金の推移 ～再建計画により返済中～



(4) 実質的な一般会計への貢献度



■ **観光特会返済分** 平成14年、15年度に上下分離方式による資産所有形態の見直しにより、観光特会が開発公社から資産買取りを実施した際の起債返済分

■ **開発公社返済分** 観光特会、開発公社とも、計画どおりに返済を行っています。(平成21年度に経営改善のため町が開発公社へ10億円の大型貸付を実施、以降、毎年5千万円の貸付を実施することで支援している。) ※上記金融団への返済後、平成32年度以降、開発公社から町への賃料・貸付金の本格的な返済計画がスタートします。